



とっばずれ



銚子東ロータリー・クラブ Weekly Bulletin NO. 1789



兼六園(石川県) 提供：川津光雄会員

第1789回 例会 平成20年10月7日

点 鐘 ... 網中 吉郎 会長
 国 歌 ... 君 が 代
 ローターソング ... 奉 仕 の 理 想
 来訪ロータリアン紹介
 ... 親睦活動・家族委員会

会 長 挨 拶 ... 網中 吉郎 会長
 御 祝 披 露 ... 網中 吉郎 会長
 誕 生 祝 ... 鈴木 宏政 会員(10月1日)
 結 婚 記 念 日 ... 石井 哲也 会員(10月6日)
 入 会 記 念 日 ... 杉山 正躬 会員(10月3日)
 西川 照幸 会員(10月6日)

幹 事 報 告 ... 石井 哲也 幹事

ニコニコBOX ... 親睦活動・家族委員会
卓 話

「職業奉仕について」
地区職業奉仕委員会 委員 猿田 正城 氏
(銚子RC)

出 席 報 告 ... 出 席 委 員 会

来週のパログラム(平成20年10月15日)

ガバナー公式訪問合同例会
クラブ協議会

10月14日(火)は15日(水)に振替

お食事処「銚子プラザホテル」



Make Dreams Real 夢をかたちに

2008~2009年度 RI会長 李 東建(D.K.Lee)

1788 回例会(平成 20 年 9 月 30 日)

会長挨拶

網中 吉郎

江戸時代に大変精度の高い日本地図を作った人は伊能忠敬ですが、彼が勉学を志して江戸に出たのは隠居後の 51 歳になってからです。暦学、天文学、測量学を学び 74 歳で亡くなるまで日本全国を測量して歩きました。18 歳で佐原村の伊能家に養子に入った彼は、その当時家運が傾きかけていた伊能家を再興すべく家業に専念し、周囲の期待に応え見事に財政再建を果たしました。そして家業を繁栄させ財を築き苗字帯刀を許され、36 歳で名主にもなりました。その直後に起こった利根川の氾濫、続く天明の大飢饉では、すでに新田開発や川普請で少しずつ自得していた測量技術を買われ、幕府の災害対策である利根川の堤防の修築工事の指揮監督者に任命されました。彼の才覚で、工事材料は公定の値段より安く買い付け、その差額を元にして、動員された農民に公定の賃金より多く支給し喜ばれ、しかも 175 両の余剰金を残し、これを「永久相続金」と名づけて災害時の特別会計としました。まるでロータリーの社会奉仕の見本ようです。この「人のため、地域のために」という考え方がさらに発展し、こののち国のためになる全国測量へとつながります。

なぜ当時としては高齢である 50 歳を超えてから江戸に出て勉強し、それがなぜ測量だったのかということが、私には疑問でした。調べていてその理由が分かりました。それは伊能家の彼の三代前の当主、景利(かげとし)にありました。伊能景利は元禄 11 年に幕府の行った国絵図の作成に参加し、佐原村本宿組の村絵図を作成し幕府の絵図奉行から褒められています。また景利は、膨大な量の村里の記録書類を残しており、忠敬も何かと参考にし、随分と助けられたものでした。この記録の編纂に専念しまとめたのは、隠居した後のかなり高齢の 52 歳のときからだと知ったとき、「隠居をして 52 歳からでもこんな大きな仕事ができる」と大いに感動し、自分もそうありたいと思いました。この景利の存在が忠敬を、隠居して 50 歳を過ぎてから勉強をさせ、日本全国の測量をさせた原動力になりました。

伊能忠敬の例から分かるように、いくつになっても新しいことに取り組むことができることを示しています。我々も仕事以外の分野に改めて関心を持つことが必要なのだと思います。案外素晴らしい世界が待っているかもしれません。新世代を応援することは、ロータリーの大事なプログラムのひとつです。我々は、年齢こそ新世代ではありませんが、心の持ち方次第でいつでも新世代になれます。応援するだけでなく、自ら新世代の意識を持つとうではありませんか。

幹事報告

1・ガバナー事務所より

・10月のロータリーレート $1\$ = 106$ 円

・2007-08 年度月信 13 号訂正依頼

- ・第 32 回 RYLA セミナー開催案内および参加青少年・ロータリアンのご推薦依頼
- ・地区協議会冊子 受領
- 2・米山記念奨学会より
- ・米山月間用資料送付のご案内
- ・クラブ支援 R 米山奨学金のご案内 受領
- 3・地区国際奉仕委員会カウンセラー増田裕様より
- 活動計画書受領の御礼 受領
- 4・佐原 RC より
- 創立 50 周年記念誌 受領
- 5・波崎 RC より
- 創立 30 周年記念誌 受領
- 6・佐原香取 RC より
- クラブ活動計画書 受領
- 7・例会変更のお知らせ
- 佐原 RC より
- 10 / 16(木) 10 / 14(火)「多古コミュニティプラザ」
- ガバナー公式訪問例会の為
- 10 / 30(木) 10 / 26(日) 地区大会参加の為 受領
- 八日市場 RC より
- 10 / 28(火) 10 / 26(日)地区大会に振替の為 受領
- 週報受領 佐原 RC 佐原香取 RC

卓話

「スタイル(様式)を磨く」

第 2790 地区 第 7 分区ガバナー補佐
織田 吉郎 氏

本日はガバナー公式訪問を前にしての補佐訪問例会とクラブ協議会を開いていただきましてありがとうございます。

本日をガバナー公式訪問のリハーサルと考えていただく必要はありません。ガバナー公式訪問時は 2 クラブ一緒なのできめ細かなフォローはできないと思います。クラブ毎のフォローをするのが私の役割と考えていますので、その細かい部分であるクラブ管理部門について本日はフォローさせていただきます。皆様の日頃お考えになっていることや矛盾を感じておられることなど何でもおっしゃっていただきまして、出来る限りおこたえしたいと思います。もちろん私では充分なお話ができない部分もあるかと思いますが、それをガバナーへお知らせして、公式訪問時にガバナーのお考えを聞かせていただく、そのようにできれば、本日の会合の意味が明確になるかと思っています。ガバナーは今年度のテーマや会員増強について語られますので、私はちょっと違った角度から話をさせていただきます。

私は今、ロータリーは、というより日本のロータリークラブは一歩間違えば崩壊するかもしれない危機に立っていると思っています。それはここ 10 年間私の変



わらない考え方で年を追うごとに確信に近いものになってきました。ちょっとショッキングなテーマではありますが、本日は、私たちのクラブが生き残るとしたらそれはこの道しかないのではないか、という日頃私が考えていることを話させていただきます。ひと言で言えば「様式(スタイル)を磨こう」ということです。

私たちのロータリークラブ運営の原則はクラブの自治権の確立にあります。その原則から考えると、唯一の例外というのは1922年に国際ロータリークラブ連合会がRIに組織変更されたことを機会に標準クラブ定款が作られ、それ以降に設立されたクラブは、その標準クラブ定款を採用することが義務付けられるようになったことです。

この私たちをしばる標準定款は3年に1回の規定審議会で改定されます。近年の改定では1業種1会員制を1業種5会員制、10%制に変えたものや少し古いところでは、メーキャップの期間を例会の前後1週間から2週間に変えたものなどがあります。また、定款変更を伴わないものはRI理事会で議論され決定されてゆきます。こちらはある意味では定款以上に重要な綱領や宣言文の撤廃などを決めます。昨年11月の理事会では、ロータリー存立の根本哲学とも言える決議23-34を消し去りました。これまでも何度も抹消を試みましたがその都度日本の理事が「そんなことをしたら日本のロータリアンは半分になってしまう」と言ってとどめてきました。何故それほどまでに消し去りたいのか、それはこの決議に「RIはクラブのどんな奉仕活動にも、それを命じたり、禁じたりすることが絶対にあってはならない」と明記しているからです。つまり、クラブの絶対的自治権を認めていて、これが困るのです。

それは今回のポリオ撲滅キャンペーンを見ているとはっきりします。RIはビル&メリンダ・ゲイツ財団が1億ドルを提供する“チャレンジ補助金”を受けることを決定します。そして同額を地区で分担負担するよう指示してきました。まさに上意下達の典型です。ポリオ撲滅運動はこの間どれだけの子供たちを救ってきたのか考えればそれ自体は良い運動だと思います。また、乗りかかった船で今更放り出すわけにはいかないこともわかります。しかし.....RIが決めてクラブに分担負担をせまる、これは決議23-34のところに反します。RIはクラブの自治権を保証しているこの決議の存在が疎ましかったのです。そしてこの決議を抹消するための手を着々と打ってきました。先日発行された2007年度版手続要欄には決議23-34は掲載されています。しかしその後の理事会で消去を決定しました。現在は生きていない決議事項が掲載されていることで、印象としては段階的消去ということになります。現在既にこの決議文はHistorical Document(歴史的文書)として博物館入りしています。つまり、決議23-34は過去のものとなったのです。2010年度版の手続要覧で

は影も形もなくなっていることでしょう。その時RIとクラブの立場が名実共に逆転し、上意下達の組織になるのです。RI世界本部はすでに“WorldHeadquarters”と名を変えています。やがてCLPも完全実施が義務付けられることでしょう。DLPを6年かけて完全実施に持ち込んだのと同じ手法が進行しています。

RIが必ず使ってくる論理が「適合か滅亡か」です。恐竜は適合できなかったから滅亡した。ロータリーを恐竜にすることはならない、というのです。しかし恐竜は適合できなかったから滅亡したわけではありません。また瞬時の天変地異にも生き残った者はいます。鳥の祖先が恐竜であることはあまりにも有名です。今でも姿を変えて大空を悠々と舞っているではありませんか。

ロータリーを100年間支えたロータリーの大原則(資料1)をご覧ください。これらはロータリーの創立直後に整えられたものです。これらを見て皆さんどう思われますか?私達の例会の型そのものが創設期に確立されていることに驚かれることと思います。

ロータリーが出来たばかりの頃に作られた約束事が、世界恐慌や第2次世界大戦、そして産業構造の変化の荒波にもビクともせず発展を続けたロータリーの真髄であり、ロータリーの確固たるスタイルそのものであることに気付き、先人の慧眼に今更のように敬服せざるを得ません。

ポール・ハリスと同じ時代を生きた思想家にニーチェという人がいます。私はポールが一人旅をしているとき、ニーチェの「悦ばしき知識」などという本を小脇に抱えていたのでは...と勝手に想像しています。ニーチェは「一事こそ必要だ」という表現で、自分の性格に「様式を与えるということこそ偉大で稀有な芸術だ」と言っています。

「ある年令を超えた時、人はスタイルを問われる。スタイルとは『一貫した自分らしさ』だ。これが無い人は周囲から見ても存在感が薄い。歳を重ねれば若い頃と比較してエネルギー量は減る。ここでものをいうのがスタイルなのだ」といっているのです。そしてスタイルを作る道は「短い習慣の蓄積だ」と。

今、ロータリーを支え続けてきたこの「短い習慣の蓄積」をRIは強引に変えています。(1)1業種1会員制もなくなりました。

(2)役員委員の原則1年交替制もCLPで3年に変えようとしています。

(3)週1回の例会も、インターネットでクラブのウェブサイトを通じて30分以上アクセスすれば出席とみなすということになりました。

(4)職業奉仕という概念もCLPでは既に飾り物となりました。

ロータリーの様式を根底から変え続けているRIに対して、苛立っているのは私ばかりではありません、日本の多くのロータリアンも同じです。

では RI は何故こうまでして変えることに執着するのかを分析したのが(資料2)です。これは東京地区のバスター・佐藤千寿さんの多くの著書のエキスを私なりにまとめたものです。資料に見る日本的ロータリーとアメリカ的ロータリー、これはどちらが正しくて、どちらが誤りと言うものではありません。片や倫理性に主眼を置いたロータリー、片や実践に主眼を置いたロータリー。私はこの幅の中をゆるやかに往還するのがロータリーなのだと思います。思いどおりにならないからと一方を抹消してしまうのはロータリーの本質を損なうこととなります。しかし現実にはアメリカ的ロータリーがその価値基準を押し付けてくるのなら、私達は自らを磨いて自衛するしかありません。

私達にも奉仕の掛け声ばかりで実はクラブとしては何もやっていないではないか.....という考え方もできます。職業倫理や哲学を語っても会員は減る一方、団体奉仕の実践は RI や地区にゆだねる一方という現実が厳然として存在するわけです。自分達が信念を持つならその信念に基づいて成果を出してゆかねばなりません。RI を理解することはアメリカを理解することに他なりません。全ては「奉仕の理想」に対する考え方の違いから出発しているのです。私たちは日本のクラブの持っている「奉仕の理想の概念」を失ってはなりません。それは日本のクラブの崩壊を意味します。

そのためにどうしたらよいのか(資料3)をご覧ください。これは銚子クラブの運営を基にまとめたものです。これまで築き上げてきたクラブのスタイル(様式)に磨きをかけてゆこうではありませんか。そうすることで RI に対抗する地力と信念を養うことが出来ます。そしてそれはクラブの魅力をより大きなものにしてゆくことにつながる筈です。

「私達は何故週1回忙しい時間を割いて例会に集うのだろう」

「日本のクラブは何故決議 23-34 にこだわるのだろう」

「地区主導の WCS はこれでよいのだろうか」

「職業奉仕って何だろう」

7月26日の地区クラブ奉仕セミナーでとてもよいことを聞きました。それは自主制作が認められているクラブ細則を一つ一つ見直してみること、“開き直っ

て CLP を利用して自立してゆこう”というやりかたです。その折にはいつも思い描いてください。“あなたの隣りにポール・ハリスが座っていたら.....彼は何と言うとだろうか”と。

崎山ガバナーが示唆に富んだ表現をされました。「各クラブで一度クラブの“棚卸し”をしてください。その折に CLP は役立つかもしれません」一度真正面から議論してみてください。今、議論を重ねておかないと流されていってしまいます。是非、銚子クラブが永年かけて築き上げてきた銚子クラブのスタイル(様式)に磨きをかけてゆこうではありませんか。ご静聴ありがとうございました。

ニコニコ

網中吉郎君

観月会、皆様のご協力により和やかでとても楽しい会になりました。ありがとうございました。

臨時理事会開催及び持回り決議 議事録

日 時 平成 20 年 10 月 1 日(火) 16:00

通知方法 事務局よりファクシミリにて送信

議 題

1・千葉科学大学留学生との交流会の件 承認

一 前回の例会(9/30)報告

点 鐘 網中 吉郎 会長

出席報告

会員総数 38 名 出席規定除外数 9名

出席者 22 名 出席率 75.86 %

9月9日 確定出席率 89.66 %

来訪ロータリアン

第7分区G補佐 織田吉郎氏

補佐幹事 信太秀紀氏

阿天坊俊明君 大里忠弘君 (銚子RC)

欠席者 7名

メイクアップ

狩野君 (9/29 千葉科学大学RAC)

スモールコインBOX

小 計 ￥ 2,163 -

累計 ￥ 25,167 -

ニコニコBOX

小 計 ￥ 22,090 -

累計 ￥ 153,090 -

銚子東ロータリー・クラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 網中吉郎 副会長 狩野 勉 幹事 石井哲也

R . I 第2790地区

クラブ広報・会報委員会 川津光雄・田杭啓信・山口廣雄・大木 忠・杉浦 武
表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦(古帳庵 古帳女)が銚子に遊んだときに詠んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。